

2021年度(令和3)「伊吹山重要植物調査計画案」の報告

伊吹山NNW調査事業部

予定日	調査場所	主な調査予定植物
5/上旬	弥高尾根・3合目	ヒゴスミレ・アケボノスミレ・ツクバキンモンソウ・イブキスミレ・ヒロハノアマナなど
5/上～中旬	笹又・北尾根	エビネ・ヤマブキソウ・ヤマシャクヤク・ヤマトグサ・ラショウモンカズラなど
5/上～中旬	山頂	コガネネコノメソウ・ダイセンヒョウタンボク・コキンバイ・ヒメイズイなど
6/中旬	3合目・ドライブウェイ	エゾノタチツボスミレ・イワツクバネウツギ・カキノハグサ・イワハタザオなど
7/中旬	3合目	オカトラノオ・ユウスゲ・スズサイコ・エゾハタザオなど
8/中旬	3合目・山頂	オオナンバンギセル・オオダイコンソウ・シモツケソウなど
9/下旬	3合目	キセワタ・ヤマラッキョウ・コシオガマ・イブキヒメヤマアザミなど
10/上旬	笹又・ドライブウェイ	チチブリンドウ・ホソバノツルリンドウ・イブキコゴメグサ・シデシャジン・エンシュウツリフネソウ・ヒナノキンチャク・イブキレイジンソウ・ウメバチソウ・マネキグサなど

【今年度の計画】 春から初夏にかけての調査計画は、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令により、調査実施が困難となりました。そのため7月以降の調査計画は見直しを検討します。特に重視しているのは、毎年行っている秋の「チチブリンドウ・ホソバノツルリンドウ調査」です。昨年度、調査範囲を拡げドライブウェイ山側も調査しましたが、道路横断の危険を伴うため今年度は山側調査は中止します。駐車場の山側壁面上に数量とも多くの株を新発見しました。今年度も状況確認を予定しています。

【昨年度の調査より】 (一部紹介)

① ヤマブキソウ (笹又登山道)

鹿食害が進み、地面の乾燥化がすすんでいます。かつて群生していたヤマブキソウやエンシュウツリフネソウ・サンインヒキオコシ・シデシャジンなどが見られなくなっています。ヒナノキンチャクも危機的状況にあります。



② チチブリンドウ・ホソバノツルリンドウ (ドライブウェイ沿線と駐車場)

ドライブウェイ沿線では、数・量ともに減少していますが、新たな生育場所も確認できました。



■2021年度 伊吹山重要植物調査 計画案

調査事業部 中井宏行

季節	調査予定日 ○数字回数	調査場所と予想対象種(色付きのワクが調査場所と対象種)
春	①5/上旬 弥高尾根・3合目	(弥高尾根)ヒゴスミレ・アケボノスミレ・ツクバキンモンソウ・カタクリ・ (3合目)イブキシミレ・エゾノタチツボスミレ・フデリンドウ・アマナ (2合目)ヒロハノアマナ
	② 5/上～中旬 ②笹又・山頂	(笹又)エビネ・ツルガシワ・カタクリ・ヤマブキソウ・ヤマシャクヤク・ワチガイソウ (北尾根)ヤマシャクヤク・ヤマトグサ・ヤマブキソウ・エビネ・ハシリドコロ・ ハルトラノオ・ラショウモンカズラ
	③5/上～中旬 ③北尾根	(山頂)コガネネコノメソウ・ダイセンヒョウタンボク・スミレサイシン・ヤマトグサ・ ヤマブキソウ・コキンバイ・サンカヨウ・ホソバナアマナ・ヒメイズイ
初夏	④6/中旬 3合目・ドラ	(3～7合目) エゾノタチツボスミレ イワツクバネウツギ・ヤマタツナミソウ (DW) カキノハグサ(10 ^キ) イワハタザオ(山頂P下)
夏	⑤7/中旬 3合目	(3合目) オオトラノオ・ユウスゲ・スズサイコ・エゾハタザオ・
	⑥ 8/上～中旬 3合目	オオナンバンギセル オオダイコンソウ
秋	⑦ 9/中～下旬 3合目	キセワタ・ヤマラッキョウ・コシオガマ・イブキヒメヤマアザミ
	⑧10/上旬 チチブホソバ調査 笹又・ドラ	イブキコゴメグサ・シデシャジン・エンシュウツリフネソウ・ヒナノキンチャク・イブキレイジンソウ・センブリ・イブキコゴメグサ・チチ布林ドウ・ホソバノツルリンドウ・ウメバチソウ・シデシャジン・エンシュウツリフネソウ・マネキグサ・ヒナノキンチャク・イブキレイジンソウ

※今年度は3合目・北尾根の調査も加えたい。
山頂・笹又・ドライブウェイの調査は、観察会と兼ねることもある(その場合は、別行動はとらない)
チチ布林ドウ・ホソバノツルリンドウ調査は、例年通り大規模に実施するが、10/上旬の1回で済ませる。(山側調査は、危険なので重点区のみとする)

■令和3(2021)年度 啓発事業計画(案)

回	期 日	曜	テーマ	コース	参加費
1	4月10日	土	五色の滝で春の息吹を感じ、山寺で名残の花に出逢おう。	ルッチプラザ出発(10:00)→姉川上流堰堤(10:45)→林道を徒歩にて観察→五色の滝登山口(11:45)→五色の滝→石切り場昼食(13:00)→長尾寺(15:00)→道の駅(15:40)→ルッチプラザ(16:20)(解散)	会員 500円 一般 1000円
2	4月24日	土	伊吹山3合目ハイクで春の花を楽しもう。	ルッチプラザP出発(10:00)→上野登山口→登山道→3合目(昼食)→(オカメが原～高屋周辺)下山→林道→1合目→登山道→登山口→(車)→ルッチプラザP(15:30)	会員 500円 一般 1000円
3	5月15日	土	春を感じながら、伊吹山北尾根を半縦走しよう。	関ヶ原ふれあいセンター(9:00発)車移動→DW静馬ヶ原待避所(静馬ヶ原)→大禿山→御座峰→(引き返す)→DW待避所(静馬ヶ原)→車移動→関ヶ原ふれあいセンター(16:30着)	会員 1200円 一般 2000円
4	7月17日	土	伊吹山頂で自然と環境について学ぼう。	関ヶ原ふれあいセンター(9:30発)→山頂駐車場(10:00)→西登山口出発→山頂(昼食)→下山→東登山道→山頂駐車場(14:30)駐車場 *植物やシカ防御策、写真等で環境問題について考えながら歩きます。	会員 500円 一般 1000円
5	7月31日 8月2日	土 月	夏休み企画!親子観察会 見て、聞いて、感じよう!	山頂駐車場(10:00)→西登山口出発→(観察会・自由研究のサポート)→山頂(昼食)→下山→東登山道→山頂駐車場(14:00)駐車場 *終了後、希望者にはスカイテラスで夏休み研究テーマをサポート。	無 料
6	8月28日	土	伊吹山山頂と「笹又登山道」の秋の花を楽しもう。	関ヶ原ふれあいセンター出発(10:00)→伊吹山ドライブウェイ→山頂駐車場(10:40)→西登山道→山頂昼食(13:00)→東登山道(13:30)→山頂駐車場(15:00)→北尾根DW待避所→(静馬が原・・ 笹又登山道)→関ヶ原ふれあいセンター解散(16:00)	会員 500円 一般 1000円
7	9月25日	土	秋を感じながら、伊吹山北尾根を半縦走しよう。	関ヶ原ふれあいセンター(9:00発)車移動→DW静馬ヶ原待避所(静馬ヶ原)→大禿山→御座峰→(引き返す)→DW待避所(静馬ヶ原)→車移動→関ヶ原ふれあいセンター(16:30着)	会員 1200円 一般 2000円
8	10月16日	土	霊仙山(初級) 山の環境を考えながら、霊仙の最高峰をめざそう。	集合: JR醒ヶ井駅 8時30分 樽ヶ畑に駐車(9:00)→汗フキ峠を経て山頂・昼食(12:00)→汗フキ峠を経て下山→樽ヶ畑(15:00)→醒ヶ井駅・解散(15:30)	会員 800円 一般 1500円
9	11月27日	土	佐和山城址～彦根城を巡る紅葉のロングハイキングを楽しもう。	彦根城西口出発(10時)→清涼寺→佐和山登山道→山頂(昼食)→下山→黒門→彦根城→大手門→登山口にて解散(15:30)	会員 500円 一般 1000円
10	3月12日	土	伊吹の山里で、早春の花々と生きものにぎわいを感じよう。	米原市 米原公民館1階ロビー出発→伊吹山麓・小泉(13:50=これより徒歩)→林道→大久保→下板並→(小泉P:車便乗)→現地または近江長岡駅、米原駅(解散:16:00)	会員 500円 一般 1000円

■令和 3(2021) 年度啓発事業計画 (2) 伊吹山重要植物図鑑発行事業

伊吹山ネイチャーネットワーク (資料 3)

活動内容	伊吹山初の重要植物図鑑作成と発刊
実施のきっかけ	本会は、重要植物調査を「伊吹山を守る自然再生協議会」の委託事業として実施しています。伊吹山には環境省、滋賀県、岐阜県の絶滅危惧植物が多く生育しています。しかし、近年において獣害や温暖化等複合的な要因での環境劣化が激しく自生地や個体数が著しく減少しています。このことから 2008 年から開始した重要植物調査の集大成として、「重要植物 (絶滅危惧種) 図鑑」の作成を発刊し、啓発事業として実施計画を立て進めています。※この図鑑は、内容的に伊吹山の初の刊行物となる予定です。※本会は、過去に地学の本、生きもの学の本、山とひと学の本等を発刊。
活動の目的	多くの重要植物や希少植物が失われつつある中、私たちの調査活動は保全事業に有効に働いています。また、調査データをもとに伊吹山初の重要植物 (絶滅危惧種) 図鑑を作成することで、今ある希少植物の種類と植生環境を自然史の記録として伝え残し、自然保全の大切さを啓発します。また、滋賀県内全図書館、近郊の教育機関、関連博物館・資料館等に寄贈し、次世代への贈り物にしたいと考えています。
図鑑の用途	① 寄贈＝滋賀県内全図書館、岐阜県揖斐郡・不破郡の全図書館、国立図書館、近郊の大学・高等学校等教育関連図書館、近郊の関連博物館・資料館等に寄贈します。(約 150～200 部) ② 販売＝ネット販売、伊吹山関連で協力いただける施設等を窓口の販売する予定です。
図鑑の内容 その仕様	① 掲載種＝伊吹山に生育する環境省、滋賀県、岐阜県の絶滅危惧植物＝約 227 種。うち写真と解説文を掲載する種＝約 140 種。 ② 仕様＝A5 仕上がり、オールカラー、約 160～170 ページ、発行部数＝1000 部 ③ 発行日＝令和 4 年 2 月予定 ④ 図鑑制作費＝(財)セブン-イレブン記念財団 環境市民活動助成金、 本会冊子制作積立金、その他寄付金 (募集中)
実施方法	① 「重要植物図鑑作成 - 特別委員会」を昨年 5 月に立ち上げました。委員長に本会会長、図鑑監修および講師として外部から学識者を招致。会員からは委員 5 名を選出し、執筆、写真、校閲の役割分担を行いました。ただし、このコロナ禍で対面式編集会議は実施せず、全てオンライン (Web 会議、メール等) で行っています。昨年 11 月中旬に試作本 (左写真) を仕上げました。 ③ コンセプトは、一般の方にもやさしく、分かりやすく、しかも価値あるハンドブックに仕上げることです。ただし、希少植物であるためその自生地は明かさないう配慮しています。
図鑑の制作 スタッフ	① 監修者：青木 繁 企画・編集：筒井 杏正 (発行責任者) ② 本会の制作委員：中井宏行、吉岡勝則、高田園子、小木さえ子、山下吉和、 ③ 本会の重要植物調査に加わった全会員、外部協力者・機関等
助成金協力者	財団法人セブン-イレブン記念財団 環境市民活動助成 (ロゴマーク掲載条件)  セブン-イレブン記念財団



▲ 昨年 11 月に作成した試作本＝本のタイトルやデザイン等は変更され実際とは異なります。掲載コンテンツもダミーです。